

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2013-531721(P2013-531721A)

【公表日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-042

【出願番号】特願2013-518488(P2013-518488)

【国際特許分類】

C 08 G 59/24 (2006.01)

C 08 G 59/68 (2006.01)

C 08 L 63/00 (2006.01)

C 09 D 11/00 (2014.01)

【F I】

C 08 G 59/24

C 08 G 59/68

C 08 L 63/00 C

C 09 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 少なくとも1種のジビニルアレンジオキシドと、

(b) 少なくとも1種のカチオン系光開始剤と、

(c) 少なくとも1種の界面活性剤と、

を含む、UV硬化性組成物であって、

前記UV硬化性組成物は、UV処理が高速で、UV処理の臭気が少なく、良好な加水分解安定性を示し、そして、

前記UV硬化性組成物は、UV硬化されると、従来のUV硬化性組成物と比較して、高い熱安定性、高い加水分解安定性、及び高い耐薬品性を維持しつつ、熱機械的特性の優れたバランスを示すものである、UV硬化性組成物。

【請求項2】

前記ジビニルアレンジオキシドが、1種又は2種以上のジビニルベンゼンジオキシド、置換ジビニルベンゼンジオキシド、ジビニルナフタレンジオキシド、ジビニルビフェニルジオキシド、ジビニルジフェニルエーテルジオキシド、及びこれらの混合物を含む群から選択されるものである、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記ジビニルアレンジオキシドがジビニルベンゼンジオキシドである、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記ジビニルアレンジオキシドの濃度が、1重量パーセント～9.9.95重量パーセントの範囲である、請求項1記載の組成物。

【請求項5】

前記少なくとも1種のカチオン系光開始剤が、ジフェニル(フェニルチオフェニル)ス

ルホニウムカチオン；ビス[4-(ジフェニル-スルホニオ)フェニル]スルフィドビスカチオン；トリフェニルスルホニウムカチオン；ヘキサフルオロアンチモネート(SbF<sub>6</sub><sup>-</sup>)アニオン、SbF<sub>x</sub>(OH)<sub>y</sub><sup>-</sup>(ここでx+y=6)アニオン；ヘキサフルオロホスフェートホスフェート(PF<sub>6</sub><sup>-</sup>)アニオン；及びこれらの混合物を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項6】

前記少なくとも1種のカチオン系光開始剤の濃度が、0.05重量パーセント～20重量パーセントの範囲である、請求項1記載の組成物。

【請求項7】

(c) 少なくとも1種の顔料材料を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項8】

前記少なくとも1種の顔料材料が、銅フタロシアニンブルー顔料、二酸化チタン、及びこれらの混合物を含む、請求項7記載の組成物。

【請求項9】

前記少なくとも1種の顔料材料の濃度が、1重量パーセント～80重量パーセントの範囲である、請求項7記載の組成物。

【請求項10】

前記少なくとも1種の顔料材料のpHが4から11までを含む、請求項7記載の組成物。

【請求項11】

少なくとも1種のアルコール又はポリオールを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項12】

少なくとも1種の反応性希釈剤、粘度調整剤、及びこれらの混合物を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項13】

少なくとも1種のオキセタンを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項14】

(a) 少なくとも1種の、加水分解安定性が60パーセントより大きいジビニルアレンジオキシドと、

(b) 少なくとも1種のカチオン系光開始剤と、  
を混合することを含む、硬化性ジビニルアレンジオキシド樹脂組成物を調製する方法。

【請求項15】

(c) 少なくとも1種の顔料材料を混合することを含む、請求項14記載の方法。

【請求項16】

前記組成物に少なくとも1種のアルコール又はポリオールを混合することを含む、請求項14記載の方法。

【請求項17】

少なくとも1種の反応性希釈剤、粘度調整剤、及びこれらの混合物を混合することを含む、請求項14記載の方法。

【請求項18】

少なくとも1種のオキセタンを混合することを含む、請求項14記載の方法。

【請求項19】

請求項1記載の組成物を硬化させて得られる、硬化生成物。